

# 緑区大高北学区 災害避難行動マップ

この災害避難行動マップは、大規模災害が発生した場合を想定して、学区のみなさんが、お住まいの地域の危険箇所や避難経路などについて話し合い、作成したものです。この避難行動マップを活用し、「いざ」という時どんな行動をとればよいのか日頃から考えておきましょう。



## 指定緊急避難場所

・洪水・内水氾濫、土砂災害、津波、大規模な火災などの、目前に迫った危険から命を守るために場所です。

災害種別	指定緊急避難場所				
	洪水・内水氾濫	土砂災害	津波	大規模な火災	地震の揺れ
①大高緑地	×	×	○	○	
②鷺津砦公園	×	×	×	○	
③大高北小学校	○	○	3階以上	×	グラウンド
④青少年宿泊センター	○	○	—	×	×
⑤グランメール37	×	×	3階以上	×	×
⑥宝大高ハイツA	×	×	3階以上	×	×
⑦宝大高ハイツB	×	×	3階以上	×	×
⑧ライオンズマンション大高	×	×	3階以上	×	×

## 指定避難所

・火災や家屋の倒壊、家具の転倒などにより、自宅に住むことが出来なくなった方が、一定期間、避難生活を送るための施設です。

・大高北学区内における指定避難所は、大高北小学校、青少年宿泊センターの2箇所です。なお、避難先は下記のとおりです。

○青少年宿泊センターへ避難する町内会⇒殿山町内会  
○大高北小へ避難する町内会⇒上記以外の町内会

**[重要]** 指定避難所の収容人数には限りがあります。避難所での生活は環境の変化から体調を崩す方も多いため、自宅で避難生活を送れるように、**家具の固定**と、**7日分の備蓄**を進めましょう。



番号	一時集合場所	町内会名	番号	一時集合場所	町内会名
①	川向公会堂	川西1・2	⑨	千賀クリニック前	中之郷第6
②	レモン駐車場	川中	⑩	伊賀殿公園	中之郷第7
③	原田眼科周辺駐車場	川東	⑪	大高駅前交番前	中之郷第8
④	西丸根公園	丸根1	⑫	鳴海サンハイツ6階駐車場	中之郷第9
⑤	大高緑地駐車場	丸根2	⑬	倉坂公園	中之郷第10
⑥	資源回収場所	中之郷第1	⑭	恐竜広場東側	藤塚町内会
⑦	大高駅前広場	中之郷第2・3・5	⑮	緑ヶ丘自動車学校前広場	殿山町内会
⑧	中之郷公会堂	中之郷第4			

## 【各町内会の一時集合場所】

被害の拡大を防ぐため、自分の身、そして家族の安全を確認後、一時集合場所に集合して自主防災活動に参加しましょう。

## 凡例

一時集合場所（自主防災組織）		指定緊急避難場所（広域）	
指定緊急避難場所（一時）		指定避難所	
AED設置場所		応急給水施設	
地下式給水栓		地下式給水栓	
土砂災害（特別）警戒区域		仮設トイレ設置場所	
公衆電話		避難経路	



## 地域防災協力事業所



番号	名称
⑨	株式会社萩原商会
⑩	岡田金属株式会社
⑪	中部電力株式会社技術開発本部 大高工場
⑫	ゴムノイナキ株式会社
⑬	三井食品株式会社中部支社
⑭	長田電機工業株 ※学区外にある協力事業所 鈴豊製鋼(株)
⑮	小池理化学工業(株)大高工場 名古屋ボーテ(株) 大陽日酸株式会社中部支社 イオン大高ショッピングセンター 大須ういろ営業本部 人形劇団むすび座

# 緑区 大高北 学区

世帯数：2,915世帯 人口：7,002人 面積：2,676km<sup>2</sup>

※平成31年2月1日現在の世帯数と人口より

## 特性と災害リスク

南海トラフ巨大地震が発生した場合、まずは強い揺れから身を守りましょう。当学区は津波浸水が想定される地域であり、名古屋港への津波到達時間は最短で96分と予測されており、避難はその後から始まります。この時間を最大限に使い、みんなで助け合って避難しましょう。

火災が発生した場合は、燃えて倒壊する建物が道を塞いだり、強い熱風が吹き荒れる懸念があります。また、液状化が発生した場合は、建物が傾いたり、泥水が溢れだし、道が通ることができなくなることがあります。これらのこと踏まえ、適切な避難先と、そこまでの安全な経路についてあらかじめ複数考えておきましょう。

## リスクレーダーチャート([STEP1: 地域特性の把握])

	値	5段階
高齢化率	27.1%	4
震度	6強	4
津波 浸水深	1.0m～1.5m未満	3
火災延焼 危険性	500～1,000棟未満	3
洪水・内水 浸水深	0.5m～1.0m未満	2
土砂災害	警戒区域に 人家50件以上	4



お住まいの地域のことを知っておくことは大切です。ハザードマップをはじめとした災害リスクや避難先のほか、地形、歴史、建物状況(密集状況や古いブロック解体など)及び防災活動状況等を確認し、家族や町内会・自治会で話し合うなど、日頃から防災・減災意識を高め、いざという時に備えましょう。

●参考資料として「地区防災カルテ」をご活用下さい。  
<http://www.city.nagoya.jp/bosaikippanri/page/0000110628.html>



## 一人ひとりの力を合わせて、大規模災害に立ち向かう!

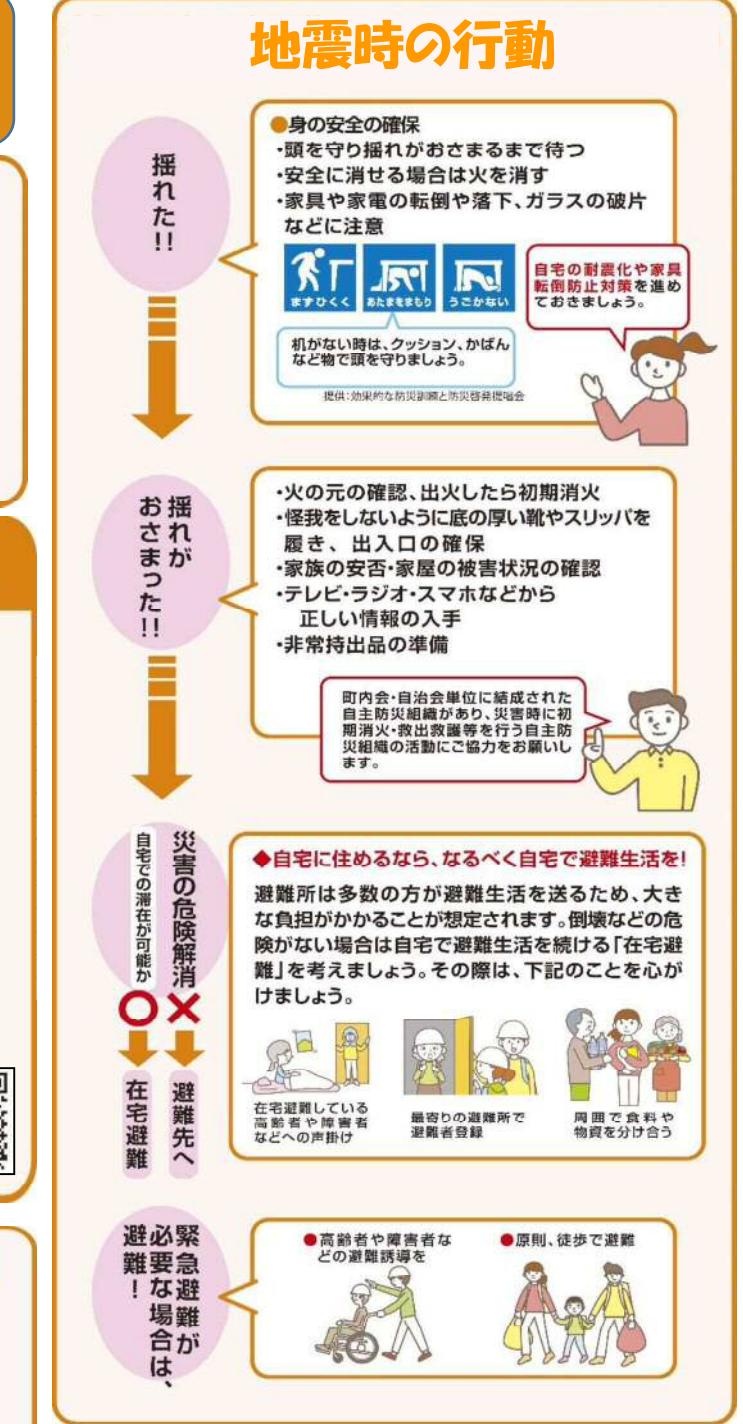
- まず、自分自身と家族の命を守ることが最優先です。その後、活動できる人は、隣近所、組、町内などで助け合う「自主防災組織」として、自主防災会長を中心に活動します。(安否確認、声かけなど)
- 災害の恐れがなくなった後も、避難生活は続きます。自宅(在宅避難)が一番ですが、自宅に戻れない場合は、「避難所管理組織」のもと、避難所で助け合って生活します。
- 「災害救助地区本部」は、区本部の補助機関であり、学区の被害や必要物資などを整理して区本部(区役所)に伝えるほか、様々な防災情報を学区の住民に伝達します。

## 学区の皆さんへ(ご協力のお願い)

- 大高北学区は津波浸水の恐れ、土砂災害の恐れがある土砂災害警戒区域がありますので、お住いのところがどのようなところか知って下さい。
- 災害が発生しましたら、まず、自分の命を守って下さい。けが無く活動できる場合は、「大高北学区自主防災会」の救援活動に協力願います。

## 津波避難のポイント!

津波浸水想定区域内にお住いの方は、大津波警報が発表されたら、津波到達までの時間を使い、出来る限り「高台」へ避難しましょう。要配慮の方や時間がないと高台への避難が困難な場合は、津波避難ビルへ避難しましょう。



## 土砂災害からの避難

大雨や地震などをきっかけとして、がけ崩れや地すべりなどの土砂災害が発生することがあります。  
土砂災害には前兆現象がある場合もあります。土砂災害警戒区域では、特に危険性が大きいので、いざという時に適切な避難行動がとれるようになっておきましょう。



### 《土砂災害警戒情報》

大雨警報(土砂災害)発表後に土砂災害の危険がさらに高まった場合に、市町村単位で、都道府県と気象庁が合同で発表

### 《土砂災害警戒判定メッシュ情報》

大雨による土砂災害の危険度の高まりを、地図上で5km四方の領域(メッシュ)ごとに5段階に色分けして示す情報  
(気象庁ホームページで確認できる)

### 《土砂災害の主な前兆現象》

- 斜面にひび割れや膨らみなどの変形が見られるとき
- 斜面から水が噴き出てくるとき
- 水が濁ったり、水量が急に減るとき
- 木立が不揃いになったり、井戸の水が濁るとき
- 斜面から石ころが落ちるとき